

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 09020170

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	2 林業の振興	事業優先度	B	
単位施策	2 多面的機能の発揮	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	みどりと親しむ町民のつどい	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	みどりとのふれあい		#N/A	
事業目標	参加人数 70人	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	有 植樹祭の開催	関係例規・法令名	無	
住民協働		関係個別計画名	無	

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 9.6ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 1.6ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha 支柱撤去、看板設置	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha	植樹祭の開催 植樹祭会場下刈 2.0ha
	事業費(千円)	7,230	1,000	1,150	2,280	1,400
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	7,230	1,000	1,150	2,280	1,400	1,400
実 績 事 業 費	事業費(千円)	2,047	923	1,124	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	2,047	923	1,124			
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等) 植樹祭の開催 参加者数 61名 植樹祭会場下刈 1.6ha	(実施内容等) 植樹祭の開催 参加者数 64名 植樹祭会場下刈 2.0ha	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	参加者数 70名	参加者数 70名	参加者数 70名	参加者数 70名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	92%	98%	0%	0%
		全体達成率	13%	28%	28%	28%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	みどりと親しむ町民のつどい	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	林務係長	渡部 憲一

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	植樹祭参加者数
【抱える課題やニーズは】	自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている状況にある	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	植樹や育樹の緑化活動	① 植樹祭参加者数÷植樹祭参加目標数	目標年度 平成26年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民の緑化思想の高揚を図り、「みどり」の大切さを理解し、守り育てる人づくりを進めることができる		目標値 70名
			実績値 64名
			達成度 91.4%
		②	目標年度 平成26年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	①植樹	オホーツク総合振興局西部森林室も協賛し、北の魚つきの森で「第21回みどりと親しむ町民のつどい」を開催	
	②植樹祭会場下刈	植樹した苗木の健全な育成を図るために、苗木の周囲に繁茂して苗木の生育に支障となる笹・草の刈り払いを実施	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている状況にあり、緑豊かな住みよいまちとして発展させるために、「みどり」に対する意識の高揚を図る植樹祭を開催することは必要性が高い。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町民の緑化思想の高揚が図られ、「みどり」の大切さを理解し、「みどり」を守り育てる人づくりに寄与した。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	オホーツク総合振興局西部森林室と協賛して取り組み、スコープ等の用品費用が不要になるなど事業費の抑制が図られた。また、必要最小限の経費で実施するように努めている。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	一般町民を対象としているので公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
自然とのふれあいや環境問題への関心が高まっている昨今、今後も継続して緑化活動を推進していく必要があるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
地域住民の自然保護意識、環境保全意識の高揚を図りながら、快適環境の創造に努める事業であるので、継続して実施すべき事業であり、当分は現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止